

激変緩和加算等シート（児童）に係る

修正事項及び対応等について

1. 級地区分の表記「12級地」「その他」追加（様式A・Bワークシート共通）
2. 注8「区分Aの」部分削除（様式Bワークシート）
3. 様式Aワークシート中 「注9」
様式Bワークシート中 「注10」
様式A・B手書きシート中 「注12」について
・記載要領(及び報酬の留意事項通知に基づき)と表現を統一。
4. 「事業運営円滑化事業に係る助成算定単位数」
・ワークシートの算定式上、端数処理の関係から、手書きシートで行った時と比べると1単位のズレが生じるケースがある。

ワークシートで算定された
事業運営円滑化事業に係る
助成算定単位数

>

手書きシートで算定した
事業運営円滑化事業に係
る助成算定単位数

様式A・B手書きシートの 3の説明部分を場合分けすることで対応
(ワークシート上の計算式は変更なし)

5. その他

上記4の場合については、当該算定加算が特別対策事業に基づくものであること、全ケースにあてはまる事例ではないこと、各自治体の事務的な負担等を考慮し、原則として過誤調整等の処理は行わなくても差し支えないこととする。

なお、各自治体において個別に判断すべき事由があると認められる場合においては適宜処理願いたい。

